



# 社教NFTから版

中部教育事務所社会教育だより (NFT=network・footwork・teamwork)

中部教育事務所第49号  
令和5年1月5日  
主任社会教育主事  
藤田望美・濱本智子

## 令和4年度 高知県地域学校協働活動研修会 (中部ブロック)



令和4年10月27日(木)に中土佐町立大野見小学校・大野見中学校にて令和4年度高知県地域学校協働活動研修会が開催されました。

大野見小学校・大野見中学校では、コミュニティー・スクール(学校運営協議会)を設置しており、学校と地域の定期的な協議の場が設けられています。会議は、教職員全員が出席し、学校経営計画に沿って話し合いがなされ、併せて地域の実情なども聞き協議することができる機会のある場として設定され、第1回目の会議がスタートしています。大野見小学校・大野見中学校のように学校と地域が相互に連携・協働して行う様々な活動が「地域学校協働活動」です。学校は、地域の学びを生かした「特色ある学校づくり」を進めています。一方で、地域は「学校を核とした地域づくりを」目指し様々な諸課題を解決することが重要になります。

これからの社会や学びの未来を創る要として地域は大変大きな存在です。

### 【公開授業・実践発表より】

緑豊かな山間にある大野見小学校・大野見中学校。大野見の自然と生き、大野見から未来を考え、伝統文化を体験し伝承を学ぶ小中9年間の系統立てたカリキュラムが組まれており、地域の方々と一緒に考え生き生きと真摯に学ぶ子どもたちの授業が公開されました。授業に参加された地域の方々は、日ごろから授業に参加しています。子どもたちに寄り添いアドバイスをしたり、大野見地域の良さや思いを伝えたりと子どもたちの学びと地域の思いが繋がっている授業でした。

実践発表は、「地域学校協働本部と連携した保小中連携教育の取組の充実」と題して学校運営協議会のことや地域と学校をつなぐ地域コーディネーターの活動のこと等を地域と連携して取り組んでいることでした。地域を愛し地域を大切に思い、自分の考えを述べることができ、地域にも自分にも誇りを持つことができる子どもを目指し、地域とともに生きている大野見小学校・大野見中学校でした。



### 【感想や意見より】

○地域に目を向け、いいところ、生活のすべ、人とのかかわり、伝統、食など大野見の力を見せて頂きました。

情報交換では、他校の活動の様子が聞けて良かったです。

○授業を見て、自分の学校でも取り入れることができる気づきをいただきました。

○学校運営協議会に教職員も参加し、ともに子どもたちの育成について考える場の設定があるのは、まねをしていきたい活動だと感じました。授業の様子から子ども達と地域の方々とともに地域を思い、学校を思い、自分達を思い、誇りを持ちながら、伝統を引き継いでいくことを感じる事ができました。このような姿のうらに、学校と地域をつなぐコーディネーターや運営協議会の力があると感じました。

# 津野町婦人会活動 血鉢づくり体験 伝統郷土料理



令和4年11月2日(水)に、高岡地区婦人会 津野町婦人会の方が講師となり、津野町立東津野中学校の1年生の総合的な学習の時間に、津野町に伝わる「血鉢づくり体験」を行いました。「座学」や「寿司づくり」を通して、昔から津野町に伝わっている地域の食文化について中学生に伝えました。血鉢料理体験を通して、中学生達は地域独自の調理方法で作られている伝統郷土料理のことや、津野町の各地域で広く伝承されていた歴史等についても学ぶことができました。

「座学」では、神祭時には、五穀豊穡、無病息災を祈願して神楽を奉納することや、その神祭ではお供えものをするとともに、「血鉢料理」を神様と共に食すとされていること、また、血鉢料理は、高知県の郷土料理で祝い事、神事(しんじ)、仏事(ぶつじ)など大勢の人が集まる席で振る舞う血鉢に盛った料理のことを言うことを学びました。

血鉢料理の起源は、藩政時代までさかのぼり、武家の供宴の終わりに大皿に盛った料理が提供され、やがて明治以降「おきゃく」料理として全域に普及したとされています。宴会を催すことを「おきゃく」と呼び、高知県では「おきゃく」文化が根付いています。

## 「座学」と「血鉢づくり」の様子



### 【生徒の振り返りより】

- ・血鉢料理は、あまり関わりがなかったので今日はワクワクしていました。同じ津野町でも東津野と葉山の味や食材の違いを知ることができました。また、家庭によっても具材の違いがあることが分かりました。普段食べることができない血鉢料理を食べることができてとても嬉しかったです。
- ・血鉢料理は、各地区の「神祭」の時に各家庭で作られていたことが分かりました。婦人会の方が作った「葉蘭」の形はどのように作っているのかと不思議に思います。とても器用だと思いました。
- ・今と昔では、食べ物も文化も少しずつ変わってきているけど、津野町の文化を受け継いでいきたいと思いました。

津野町婦人会の古味美千子会長は、地域の子供達に地域の伝統郷土料理「血鉢づくり」を通して、地域の食文化や神祭について知ってほしい、子供達の住んでいる津野町を誇りに思う気持ちにつながってほしい、と笑顔で話されました。この活動は、8年目となり婦人会のメンバーも高齢者が多くなっているが、子供達と一緒に活動できることが喜びにつながっていると語られました。婦人会の皆様の活動は、地域の文化を継承する大きな役割を担っています。



## 中部教育事務所管内の社会教育活動を発信します

この「社教NFTかわら版」はみなさんの地域や社会教育活動を応援する情報誌です。社会教育に関わる活動情報がありましたらぜひお知らせください。

連絡先 高知県教育委員会事務局 中部教育事務所

TEL 088-893-6166 FAX 088-893-6167 E-mail [310305@ken.pref.kochi.lg.jp](mailto:310305@ken.pref.kochi.lg.jp)

